

水稲生産者の皆さまへ

水稲中後期除草剤の上手な使い方

水稲の上手な
管理方法を紹介!

水田に雑草が蔓延ると、肥料成分を奪われて減収や品質低下の原因になるだけでなく、病害虫の発生源にもつながります。**発生している雑草に効果のある剤を選択することが重要です!!**

POINT

1

まずは初期剤・初中期一発剤をしっかり効かせましょう。

代かき・田植え後から発生する初期雑草を抑えます。



例：【ベッカク】【カイレキ】
初中期一発剤

POINT

2

残った草種に適した中後期除草剤の選定。

対象雑草に得意な除草剤を選択することが効果的な除草をするうえで重要です。

例：幅広い雑草に
【ツイゲキ】
ヒエでお困りなら
【クリンチャー】
広葉でお困りなら
【バサグラン】



詳しくは、令和8年肥料農薬予約注文書P.8【中・後期剤選択フローチャート】を参考にしてください。

POINT

3

散布前・散布後は水口・水尻を閉め、湛水状態を保ちましょう。

除草剤は水に溶け雑草に吸収されることで効果が発揮されます。**散布後3～4日間は入水を控えましょう。**

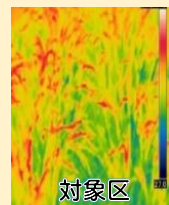
1～2日で大部分の田面が露出する圃場は、乳剤や液剤の散布がおすすめです。粒剤やジャンボ剤使用の場合は、やさしく入水し3～5cmの湛水状態を保ちましょう。また、7日間は落水、かけ流しはやめましょう。

※薬剤によって【落水散布】など使用方法が異なります。使用時期・散布適期を含め登録内容をよく確認して使用しましょう。

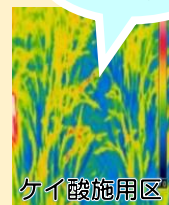
高温障害の軽減にケイ酸資材のご紹介

稲体温度が
低下

水稲の生育に必要なケイ酸には、根張りを活性し蒸散を促進させ、高温時に稲体の温度上昇を軽減させる効果(クーラー効果)があります。



対象区



ケイ酸施用区

けい酸加里プレミアム34

けい酸成分34%に加え、石灰・苦土・加里をバランス良く含みます。ケイ酸の働きで多く生成されたデンプンを、く溶性加里が籾への転流を助け、大粒のお米生産に役立ちます。



施肥量：20～40kg/10a
(中間追肥の場合)

※商品が品薄状態となっております。ご注文の際は各支店・営農経済センターにご相談ください。

省力施肥資材

KSK28

水口流し込み・ドローン散布が可能な液体けい酸加里!!
1.4kg/10a施用で効果を発揮



ウォーターシリカ

けい酸成分の溶出が速く、すばやく稲体に吸収されるため、中干後の入水と同時に水口流し込み施用がおすすめです。
施肥量：15kg/10a

